

磐田市幼児教育・保育推進計画

(第3期磐田市幼稚園・保育園再編計画)

磐田市

目次

	ページ
1 計画策定の趣旨	…… 1
2 計画の位置づけ	…… 2
3 現状と課題	…… 3
4 計画期間	…… 8
5 基本方針	…… 9
6 重点施策	…… 12
7 実施方針（令和4年度から令和8年度まで）	…… 18

資料

保護者アンケート

1 計画策定の趣旨

これからの時代は、少子高齢化やグローバル化など社会情勢の大きな変化が予想され、直面する様々な課題にしなやかに対応する能力が求められます。

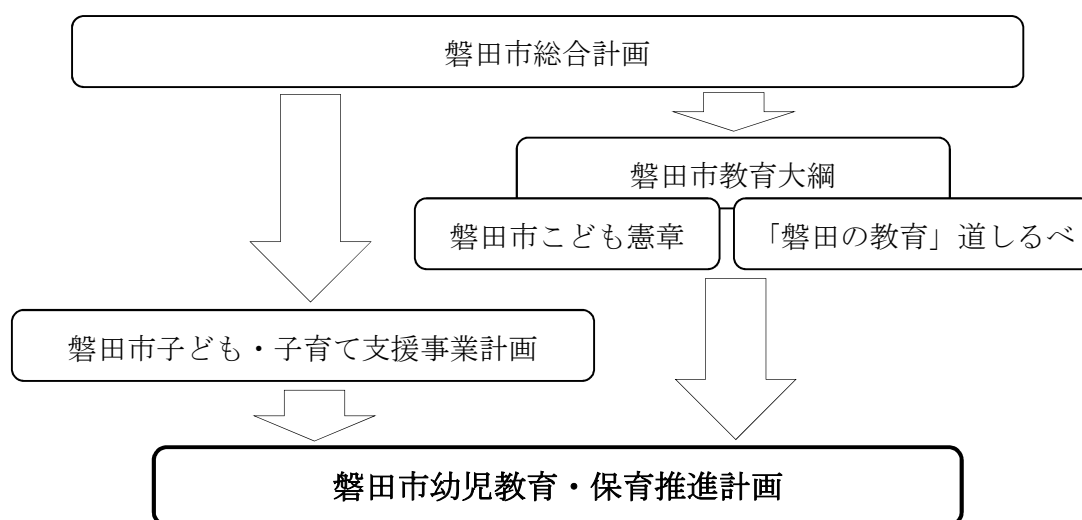
このような社会の中で、将来の磐田市を担う大切な子どもたちが健やかに成長することを願い、幼稚園・保育園・こども園が共通の目標を持つとともに、公私立園が更に連携をすることで、幼児教育・保育の一体的な質の向上を図ることを目的に計画を策定しました。

また、これまでの「磐田市幼稚園・保育園再編計画」（以下「再編計画」という。）で進めてきた施設の統廃合や待機児童への対策を継続するとともに、幼児教育・保育の質の向上や多様な保育ニーズへの対応なども盛り込んでいくことから、名称を「磐田市幼児教育・保育推進計画」（以下「本計画」という。）へと変更します。

本計画の推進により、本市が積み上げてきた幼児教育・保育への理解を一層深めていくとともに、多様なニーズに対応するため、制度や公私立の枠を超えて、就学前の充実した幼児教育・保育を一体的に提供する体制の整備と構築に努めていきます。

2 計画の位置づけ

本計画は、平成26年2月策定の再編計画から続く第3期目の計画です。また、市のまちづくりの総合的指針である「磐田市総合計画」や市の子育て施策の基本設計図である「磐田市子ども・子育て支援事業計画」をはじめとした行政計画や関連する提言を踏まえた中で、具体的な施策を推進していくために策定するものです。

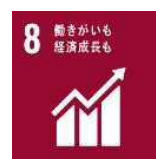


■ 本計画とSDGsの関係性

SDGs (Sustainable Development Goals) は平成27年9月の国連サミットで採択された、誰一人取り残さない持続可能な社会の実現を目指す世界共通の行動目標で、令和12年を年限とする17のゴールと169のターゲットから構成されています。

SDGsの取組みは幼児教育・保育とも密接につながっており、本計画を推進することはSDGsの達成にもつながるものです。

【本計画に特に関連するゴール】



3 現状と課題

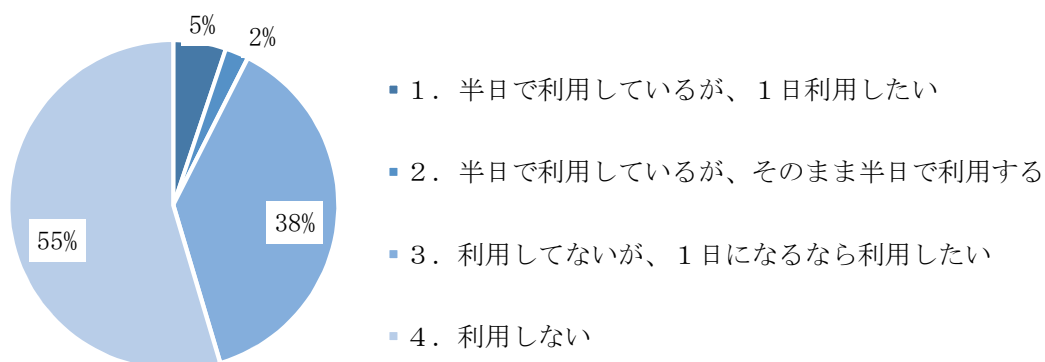
全国的に少子化が進行する中で、女性の社会進出に伴う共働き世帯の増加や就労形態の多様化、核家族化などにより、子どもや子育てを取り巻く環境は大きく変化しています。

それに加え、感染症の流行や特別な支援を必要とする子どもの増加など、目まぐるしく変化する社会情勢に対応するため、これまで以上に幼児教育・保育の充実や保育サービスの拡充、長期的な視野に立った施設整備等が求められています。

■ 本市の主な課題

■保護者の就労形態の多様化により、土曜・日曜・祝日の保育や早朝や夕方の延長保育の需要は多くあります。私立園では休日保育や延長保育、病後児保育など様々な保育サービスを提供していますが、公立園では土曜保育の実施時間や幼稚園の預かり保育などに課題があります。

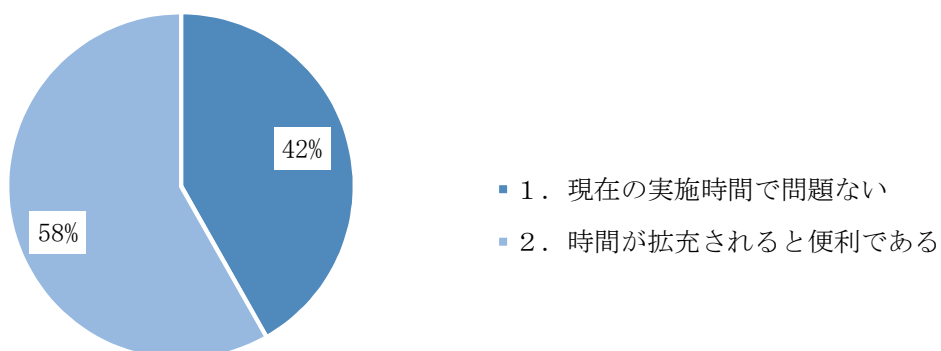
○公立保育園の土曜保育に関する保護者アンケート結果



回答数：174（対象：磐田北保育園・二之宮保育園・豊田北保育園・豊田西保育園）

資料：公立園保護者アンケート（R3.7実施）

○公立幼稚園・認定こども園の預かり保育に関する保護者アンケート結果

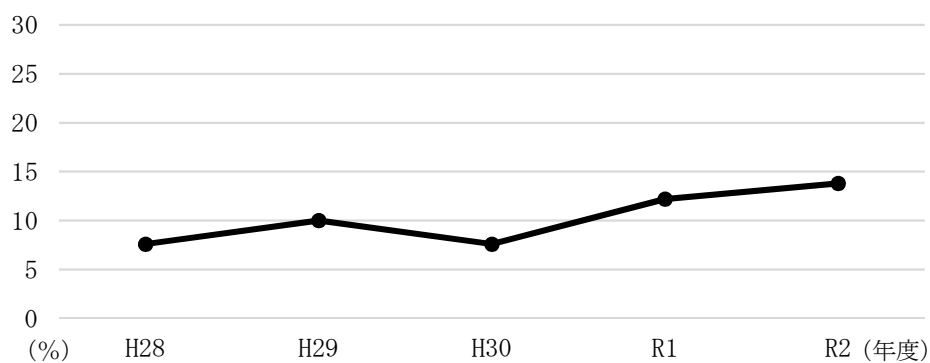


回答数：761（対象：公立幼稚園・公立認定こども園の幼稚園卒）

資料：公立園保護者アンケート（R3.7実施）

■特別な支援や個別の対応が必要となる園児の割合は、年々増加をしています。また、園や保護者からの発達支援に係る相談や要望も増加傾向にあります。

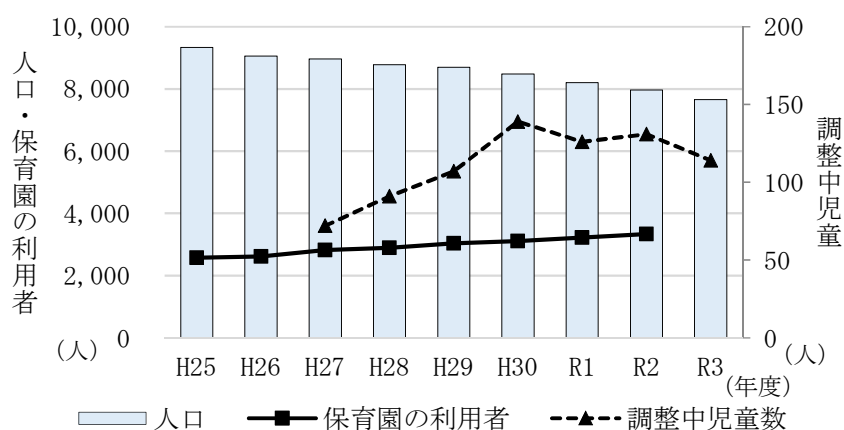
○特別な支援を必要とする園児の割合の推移



資料：幼稚園保育園課就園調査

■核家族化や共働き世帯の増加に加え、幼児教育・保育の無償化により、保育ニーズが増加しています。待機児童数は、令和3年4月1日時点で0人となりましたが、待機児童の定義から外れた入園調整中児童や年度途中の待機児童に係る保育枠の確保に課題があります。

○平成25年から令和3年までの0～5歳児童の人口と
保育園利用者数、調整中児童の各推移

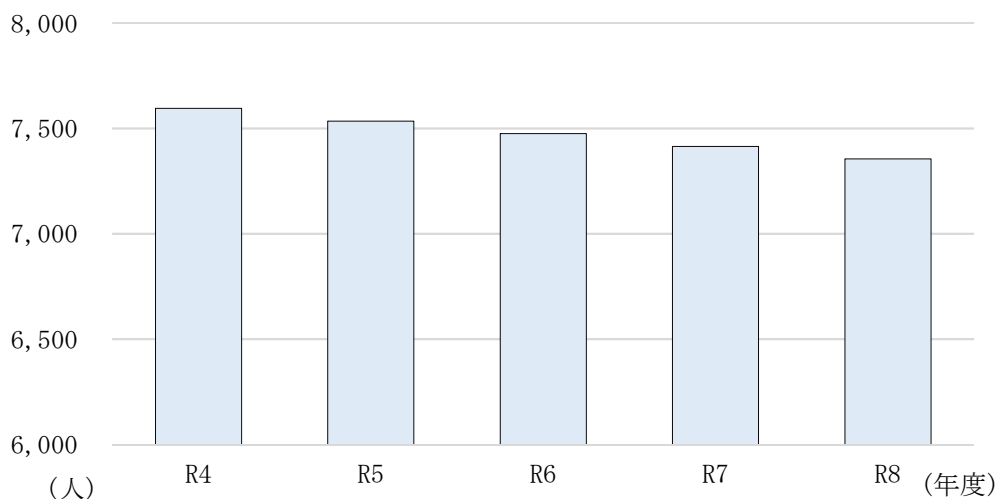


資料：磐田市住民基本台帳、市政報告書、待機児童調査

※人口及び保育園の利用者は各年3月時点、調整中児童は各年4月時点

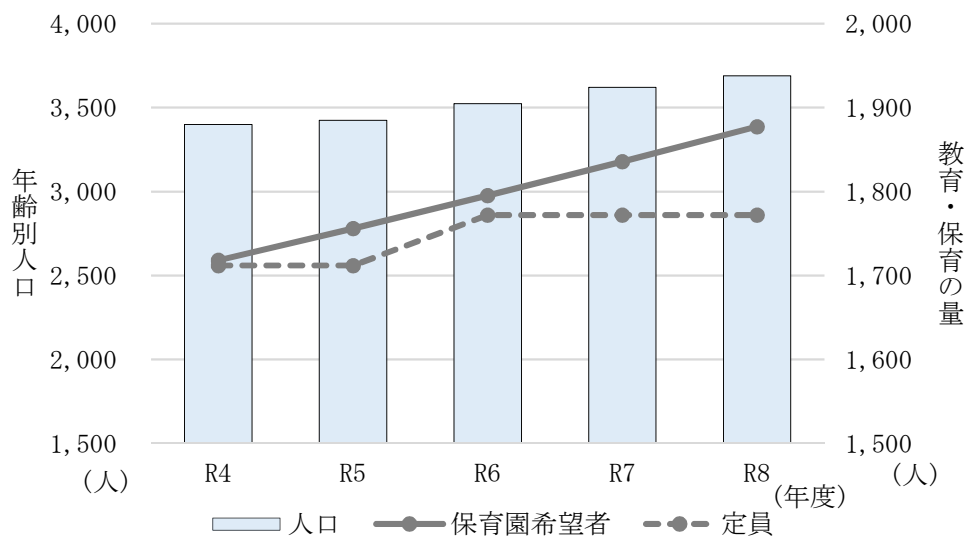
■将来人口は減少する見込みであるものの、保育園利用希望者数は0～2歳では上昇し、3～5歳ではほぼ横ばいとなると予想されることから、引き続き保育枠の拡充が望まれます。

○令和4年度から令和8年度までの0～5歳児童の人口推計



※「第2次磐田市総合計画 後期基本計画」のR8年度の目標値を基に独自試算

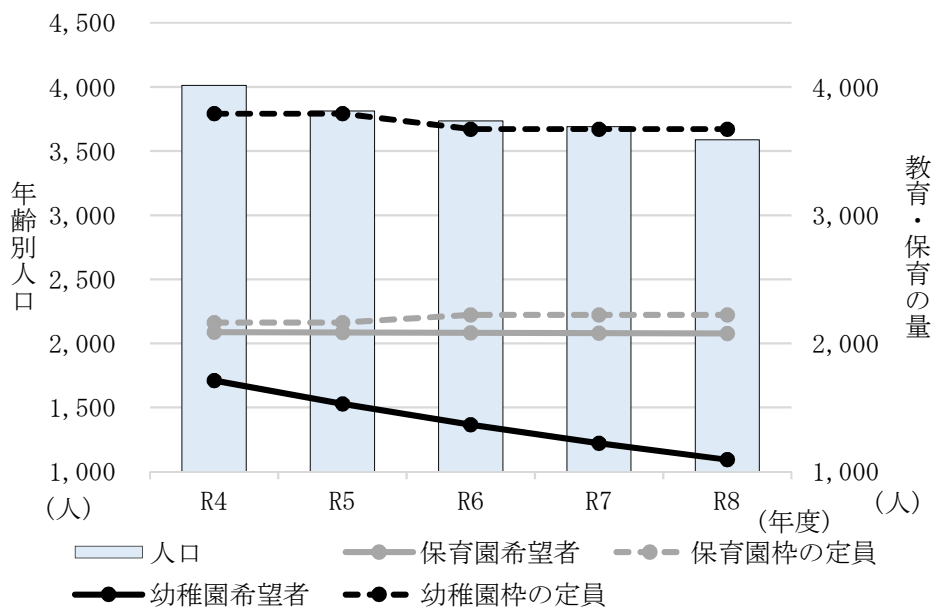
○ 0～2歳児の人口見込み及び保育園希望者数の見込みと定員数



※令和3年度までの実績を基に機械的に試算しているため、0歳児の希望者の増加数は1～2歳児の希望者数の見込みに考慮されていません。

※定員数については、検討中の施策は含まれていません。

○ 3～5歳児の人口見込み及び幼稚園・保育園の希望者数の見込みと定員数



※令和3年度までの実績を基に機械的に試算しているため、0～2歳児の希望者の見込みの増加数は3～5歳児の希望者の見込みに考慮されていません。

※定員数については、検討中の施策による増減は含まれていません。

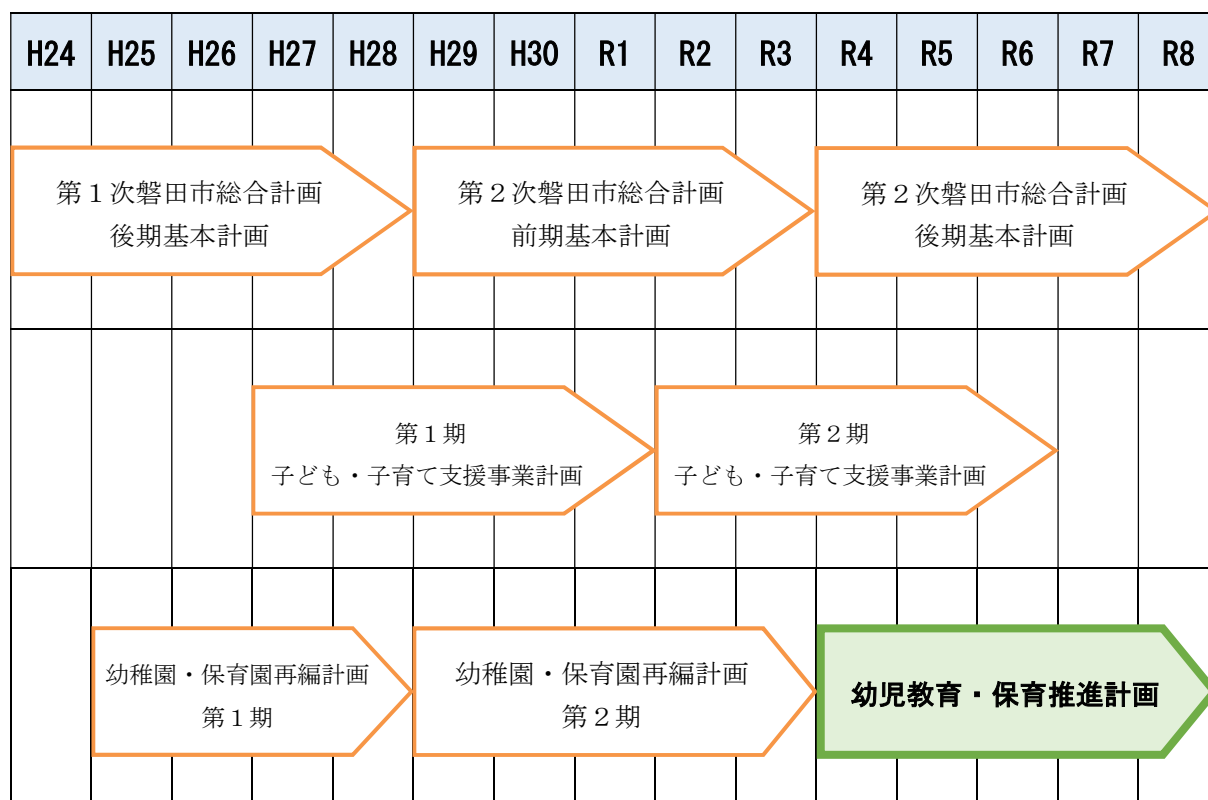
■公立幼稚園・保育園の耐震化は平成 25 年度に完了したものの、昭和 40 年代から 50 年代にかけて建築された建物が残存しており、建て替えの必要が生じています。

○昭和 60 年以前に建設された園一覧表

建築年	園名
S46～50 年	東部幼稚園、向笠幼稚園、磐田南幼稚園、長野幼稚園、大藤こども園、豊岡こども園
S51～55 年	豊岡南幼稚園、竜洋幼稚園、豊田北部幼稚園、田原幼稚園、リーザプレスクール
S56～60 年	豊田西保育園、青城こども園、竜洋東こども園、磐田北保育園、豊田東幼稚園、豊田南こども園、豊田北保育園

4 計画期間

計画期間は、「第2次磐田市総合計画 後期基本計画」の計画期間である「令和4年度から8年度まで」の5年間とします。なお、計画の実施状況や国の動向、社会情勢の変化等を勘案し、必要に応じて計画の見直しを行います。



5 基本方針

本市は、平成26年から再編計画を推進し、公立園の再編成や民営化、認定こども園化や小規模保育の拡充などを行ってきました。これにより、市内の認可施設は公立幼稚園10園、私立幼稚園2園、公立保育園6園、私立保育園11園、公立認定こども園7園、私立認定こども園8園、地域型保育事業13園の合計57園となりました。

今後も、これらすべての園が、多様化する保育ニーズに応えながら質の高い幼児教育・保育を提供していくためには、幼稚園・保育園・こども園といった施設の種別や公立・私立の別を超えて、幼児教育・保育に携わる者が一体となって、子ども一人ひとりに向き合った温かい保育の実践を継続していくことが必要です。

また、それぞれの園が関係機関との連携を図りながら、市全体の保育の実情や課題を把握し、ニーズに即した保育の充実を図ることも求められています。

子ども一人ひとりに向き合った温かい保育を実践します

子どもと保護者、保育者の笑顔があふれる園を目指していきます。

- ◆重点施策1 幼児教育・保育現場における質の向上と充実
- ◆重点施策2 多様な保育ニーズに対応した支援の拡充

質の高い保育を提供するための体制を整備します

保育者の保育力の向上に努めるとともに、保育者が教育・保育により注力できる環境を整えます。

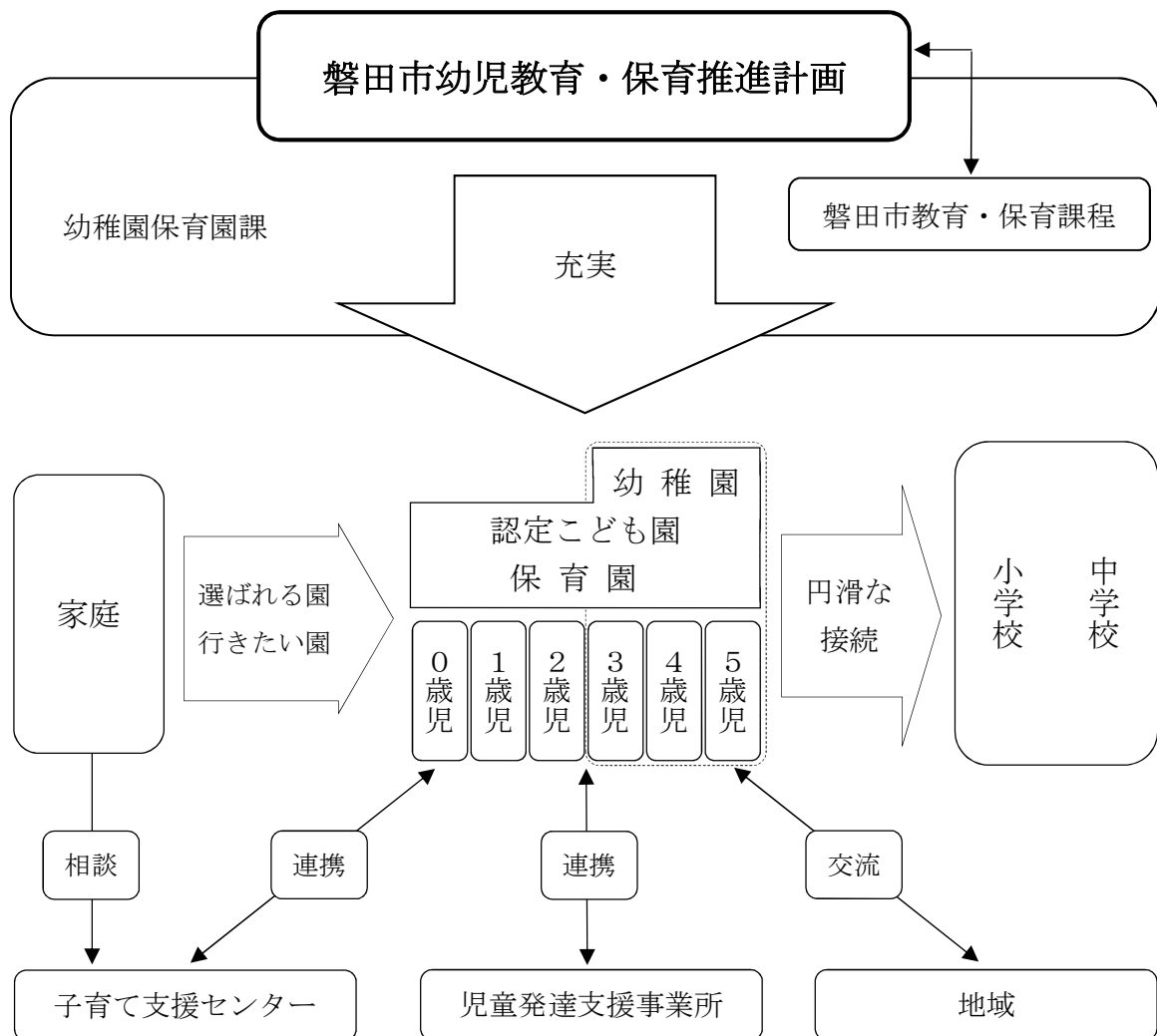
- ◆重点施策3 発達支援の充実
- ◆重点施策4 環境の整備と職員体制の充実

長期的な視野で施設整備を推進します

少子化の進行を考慮したうえで、老朽化した施設の再編・再築を進めるとともに、年度途中の待機児童を解消するため、公立園の認定こども園化や定員の見直し、本計画の計画期間以降の施設整備の方針を検討します。

- ◆重点施策5 施設の再編・再築の検討と実施

■ 基本方針で示す体系図



6 重点施策

重点施策 1

幼児教育・保育現場における質の向上と充実



(1) プロジェクトチームによる課題検討

幼稚園・保育園・認定こども園がそれぞれに抱えている課題の解決、また施設形態ごとの認識や意識の違いの解消に取り組みます。

《検討事項》

- ・市全体の保育の実情や課題の整理
- ・公私立園間の情報共有、協議の実施
- ・公私立園が共に目指す幼児教育・保育の手引きの作成

(2) 園の連携と相互理解

幼稚園・保育園・認定こども園が公私立の枠を超えて一体となるための取り組みを進めます。

《検討事項》

- ・市内全園が参加する連絡会等の充実
- ・保護者や市民に対する効果的な情報発信の研究と実施

(3) 職員の資質向上

研修の機会や内容のさらなる充実を図ります。

《検討事項》

- ・専門的な研修の機会の確保
- ・各園の実践事例の発信と共有



(1) 公立園の保育サービスの拡充

保護者の多様な就労形態に対応するため、公立保育園の土曜保育の一日実施をはじめとした保育サービスの拡充を検討します。その際は、職員配置の状況等を踏まえて、保育現場の負担が軽減するよう考慮します。

《検討事項》

- ・ 保育園の土曜保育の一日実施
- ・ 幼稚園預かり保育の拡充
- ・ 幼稚園・保育園の認定こども園化

(2) 個々の困りごとに対する支援の強化

個々の家庭環境や就労形態に応じた支援の拡充を進めます。また、外国籍の園児や保護者に対する支援の強化に取り組みます。

《検討事項》

- ・ 日曜祝日の保育提供
- ・ 病児や病後児への保育提供
- ・ 通訳手段の充実

(3) 子育て支援センターとの連携

就園に関する相談窓口の拡充や情報の共有を図ります。

《検討事項》

- ・ 連携を図るための課題の整理と体制の構築
- ・ 就園前の相談受付や園見学など体制の構築
- ・ 新たに建設する施設や既存施設への子育て支援センター併設の検討



(1) 職員の専門的な知識の習得

多くの職員が発達支援の専門的な知識を身に着けることができるように、研修の充実や園職員の専門部署への人事交流を通じた人材育成などを検討します。また、研修の機会を増やすことや専門的な知識を有した職員を中心とした知識を共通化する場をつくることのできるよう努めます。

《検討事項》

- ・ 専門研修の充実
- ・ 体験型研修の検討

(2) 組織を越えた連携

特別な支援を要する子に対して適切な時期に適切な支援を提供するため、園と幼稚園保育園課の連携にとどまらず、関係機関との連携強化に努めます。

《検討事項》

- ・ 園とこども未来課や小学校、児童発達支援事業所などとの連携
- ・ 園と保健師や心理士との連携の強化



(1) 保育士確保策の充実

園の運営を支援するため、保育士確保の施策を充実させます。

《検討事項》

- ・ 保育士確保フェア実施
- ・ 保育士募集方法の見直し
- ・ 中学生・高校生への啓発事業の検討

(2) 保育環境の改善

園児が安心して充実した保育を受けられるような環境を維持していくために、職員配置や設備に関する施策を実施します。

《検討事項》

- ・ 職員配置の充実
- ・ 早朝・夕方保育、預かり保育の職員体制の確立
- ・ 修繕計画、備品更新計画の作成

(3) 職場環境の改善

保育者が保育に集中できるように職員室や休憩室等の職場環境の改善を図ります。

《検討事項》

- ・ 環境改善のための調査と対策の実施
- ・ 園務改善のためのICTの導入、備品増設の検討



(1) 老朽化した施設への対応

昭和 60 年以前に建設された施設について、施設の統合・再築や今後の整備計画を検討します。なお、統合や再築の方針検討は、保護者や地域への丁寧な説明や協議を行いながら進めます。また、少子化や利用希望者数の見込みを考慮して、既存施設の活用も含めて検討します。

《検討事項》

- ・施設統合
- ・園舎再築
- ・既存施設の分園利用
- ・民営化
- ・令和 9 年度以降の施設整備方針の検討

(2) 幼稚園・保育園の認定こども園化の推進

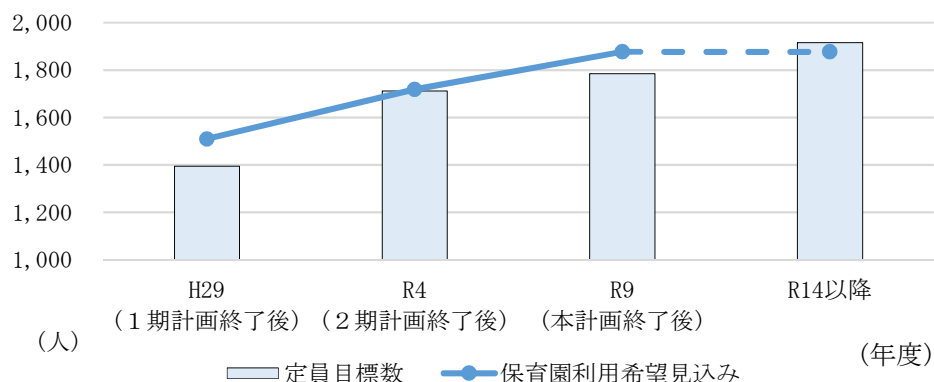
年度途中の待機児童解消や保護者の就労形態の変更に柔軟に対応をしていくため、幼稚園・保育園の認定こども園化を検討します。

《検討事項》

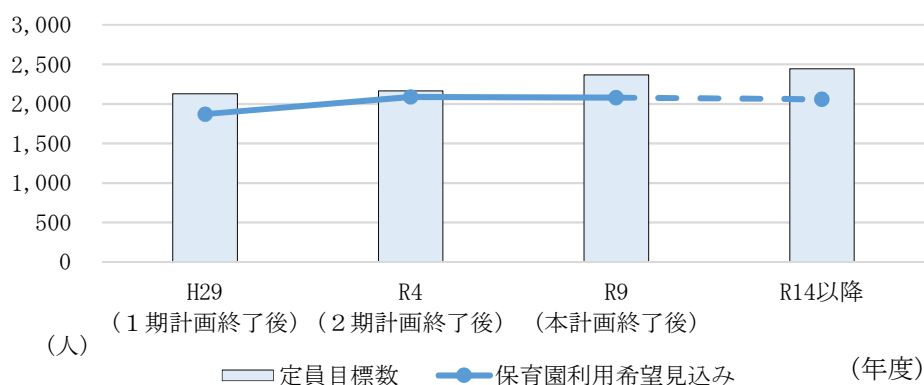
- ・公立園の認定こども園移行
- ・公立幼稚園の定員の見直し

■ 保育園利用希望者数の見込みと定員目標数

○ 0～2歳児

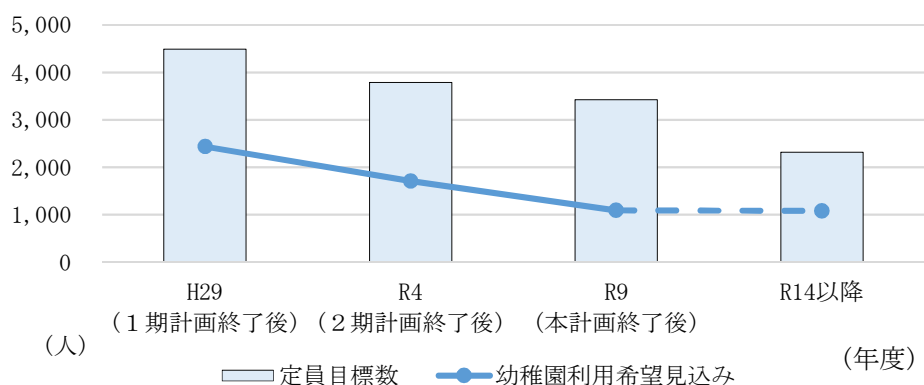


○ 3～5歳児



■ 幼稚園利用希望者数の見込みと定員目標数

○ 3～5歳児



※各図における希望者数の見込みは令和3年度までの実績を基に機械的に試算しているため、3歳未満児の希望者の増加数を3～5歳児の希望者数の見込みに考慮していません。
 ※各図における定員目標数は、本計画で検討する施設の整備を推進した場合の数を掲げています。

7 実施方針（令和4年度から令和8年度まで）

実施方針は、本計画において重点的に実施すべき施策を掲げています。
内容については、随時見直しを行います。

No.	実施・推進する施策		検討内容					
1	幼児教育・保育現場における質の向上と充実		<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトチームによる課題検討 園の連携と相互理解 職員の資質向上 					
2	多様な保育ニーズに対応した支援の拡充		<ul style="list-style-type: none"> 公立園の保育サービスの拡充 個々の困りごとに対する支援の強化 子育て支援センターとの連携 					
3	発達支援の充実		<ul style="list-style-type: none"> 職員の専門的な知識の習得 組織を超えた連携 					
4	環境の整備と職員体制の充実		<ul style="list-style-type: none"> 保育士確保策の充実 保育環境の改善 職場環境の改善 					
No.	対象園	前計画からの協議事項	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
5	岩田こども園	民営化（民設民営） 幼保連携型認定こども園 再築	民営化 開園					
6	竜洋北保育園 竜洋西保育園	統合 民営化（民設民営） 保育園 再築	建設 工事	民営化 開園				
7	東部幼稚園	民営化（民設民営） 幼保連携型認定こども園 再築		協議・設計 建設工事		民営化 開園		
8	リーザプレスクール （私立）	再築の支援		協議・設計 建設工事		新園舎 保育開始		
No.	対象園	検討事項	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
9	磐田北幼稚園 磐田北保育園	統合 認定こども園移行 子育て支援センターの設 置を検討		保護者・ 地元説明 課題検討	移行準備	開園 支援センター連携		
10	二之宮保育園	認定こども園移行		保護者 説明	開園			
11	公立幼稚園	認定こども園移行		保護者 説明 調整	職員数状況を踏まえて順次、 幼稚園型認定こども園化			
12	大藤こども園 向笠幼稚園	統合 再築 子育て支援センターの設 置を検討		再築に向けて 地元・保護者・関係課協議、説明 方針決定				
13	豊田北部幼稚園 豊田北保育園	統合 再築 豊田西保育園の統合や 民営化も含めて検討		保護者・地元協議、説明 方針決定				
14	老朽化している施設	統合 再築 民営化 等		R9年度以降の方針を検討				

※保護者・地元への説明や協議の進捗によっては計画が前倒しとなる可能性があります。

資料 保護者アンケート

(1) 調査の概要

① 調査の目的

現在、公立園に通園をしている子どもがいる世帯の幼児教育・保育のニーズを把握することにより、今後の幼児教育・保育施策に生かすとともに、「(仮)幼児教育・保育推進計画」策定の基礎資料とするため。

② 調査の対象

市内の公立園に通園している子どもがいる 2,014 世帯

③ 調査の方法

公立園経由で、回答入力ページの QR コードの配布、電子申請での回答希望者及びポルトガル語版のみアンケート用紙の配布・回収

④ 調査の期間

令和3年7月12日～令和3年8月6日

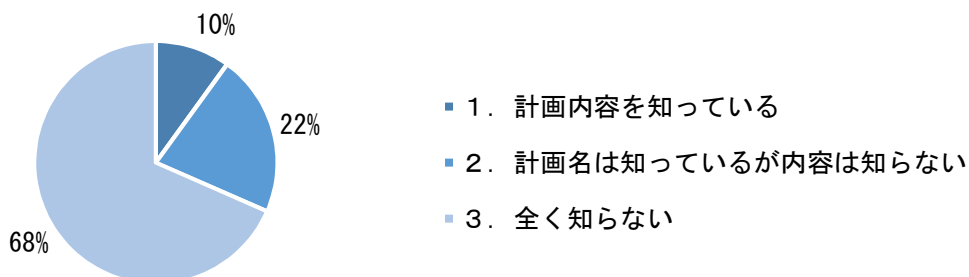
⑤ 回収の結果

	対象者数	電子回答	書面回答	回答総数	回答率
公立園通園児の保護者	2,014 世帯	1,237 件	27 件	1,264 件	62.7%

(2) 調査結果

1 「磐田市幼稚園・保育園再編計画」について

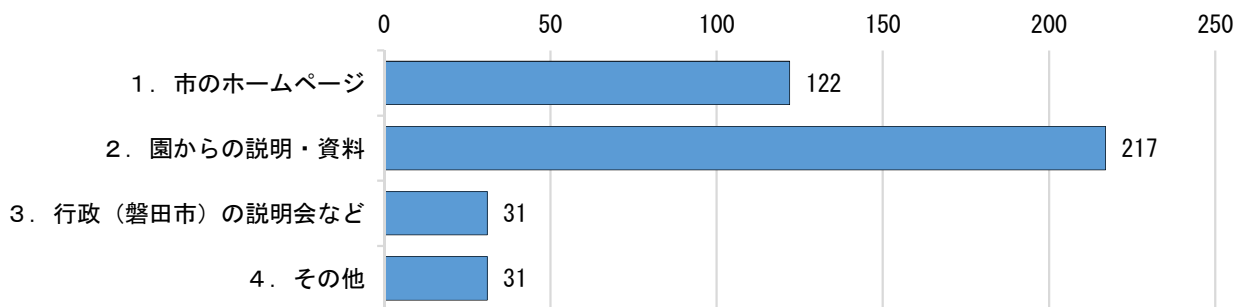
問1 「磐田市幼稚園・保育園再編計画」について知っていますか。



・約7割の方は再編計画を全く知らないと回答しました。

問2 どのような方法で計画を知りましたか。(複数回答可)

対象：問1で「1、2」を選択した方

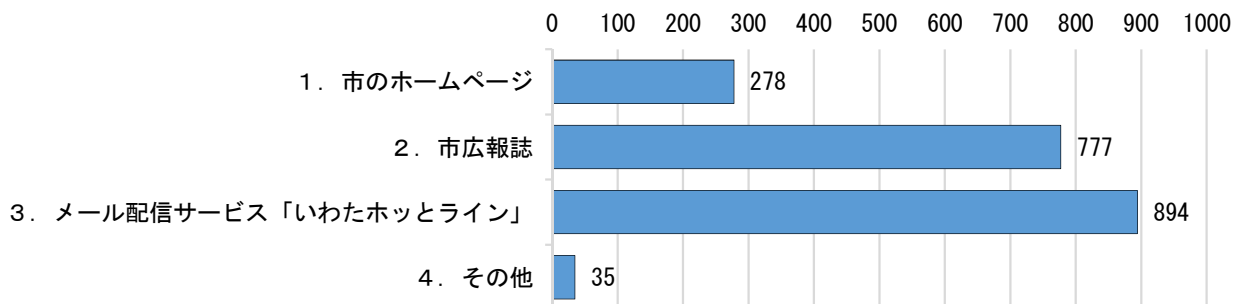


【参考】その他：広報いわた、議会関係の広報誌、知人

・問1で再編計画を「知っている」もしくは「名前のみ知っている」と回答した方のうち、約半数の方は「園からの説明や資料」で計画を知ったと回答しました。

・多くの方は「市のホームページで知った」と回答しました。

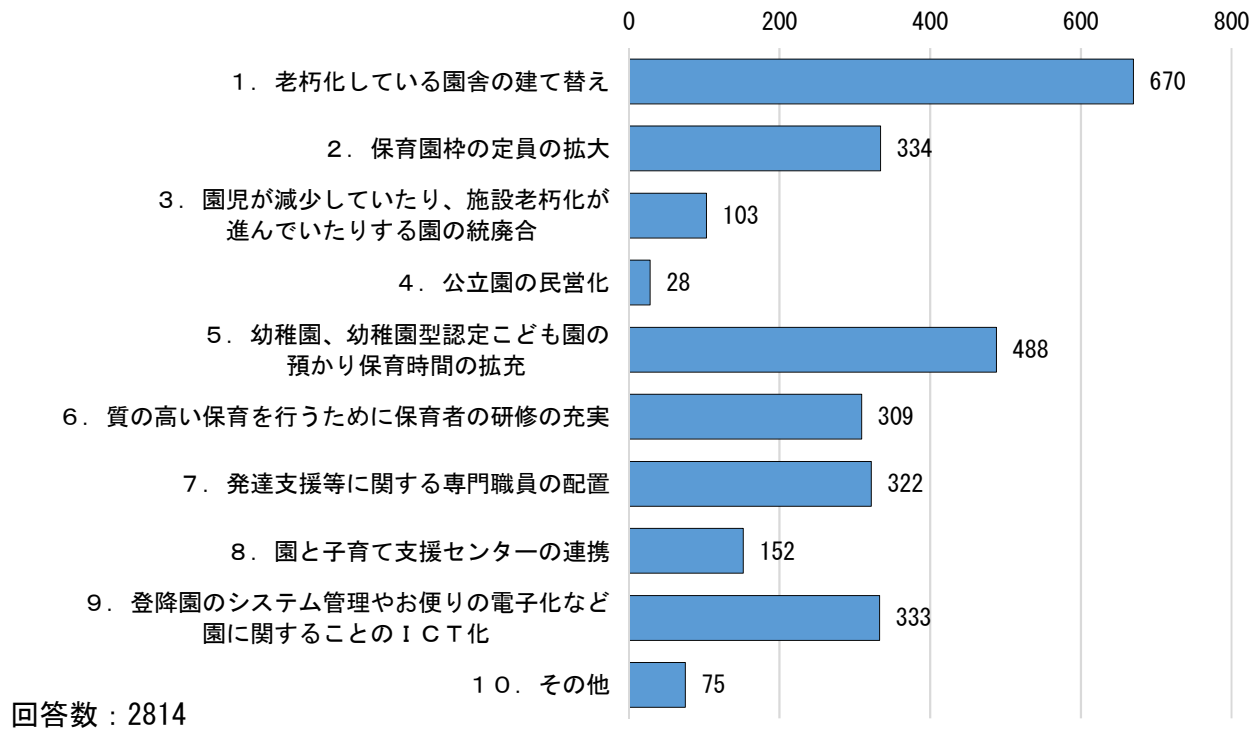
問3 行政の情報はどのように入手していますか。(複数回答可)



【参考】その他：市のSNS、議会関係の広報誌、知人、家族、新聞

・行政情報の入手手段として「いわたホットライン」や「市広報誌」が多いことがわかりました。

問4 今後の計画に期待することはありますか。(特に期待するもの3つまでに○)

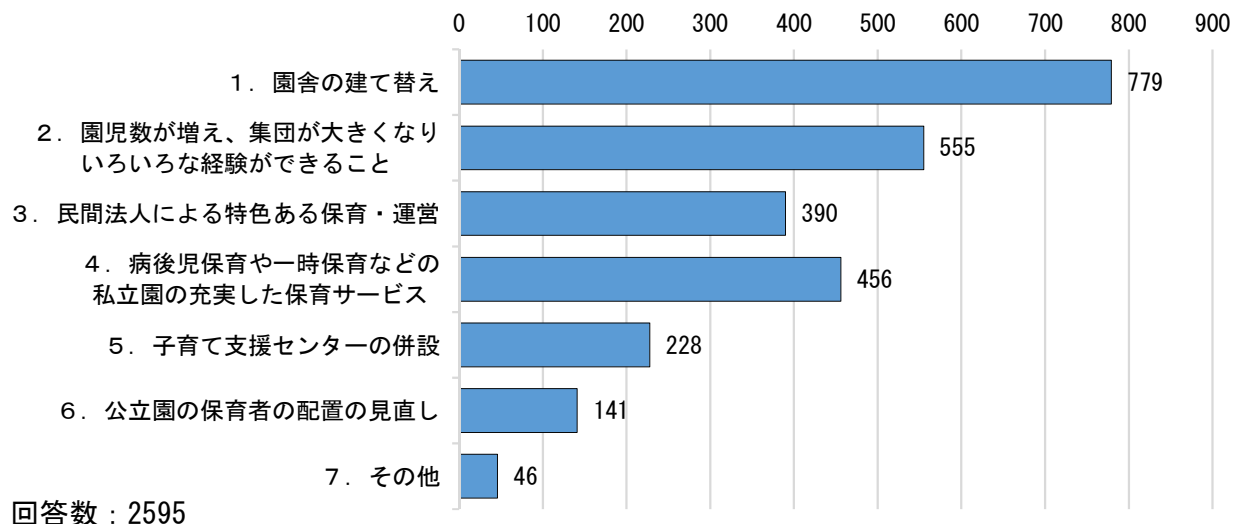


【参考】 その他：園庭環境の整備、駐車場整備、保育士の処遇改善、幼稚園の情報発信、保育士確保、保育時間の拡充

・今後の計画に期待することとして「老朽化した園の建て替え」に一番多くの回答がありました。

2 施設整備について

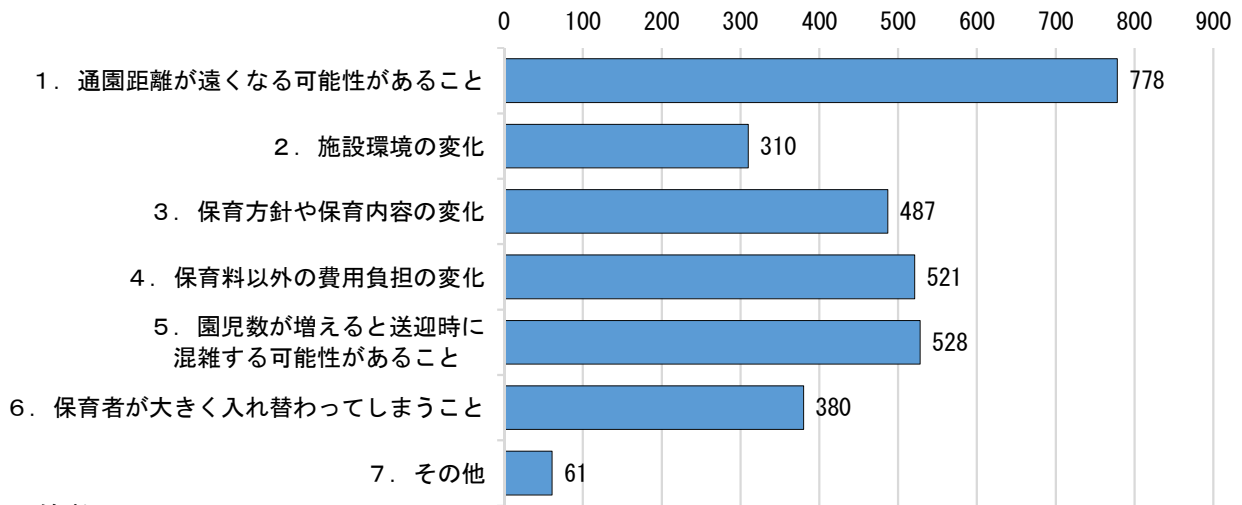
問5 公立園の民営化や統合をするメリットは何だと思えますか。(3つまでに○)



【参考】 その他：保育卒の増化、土曜・祝日保育の拡充、習い事の実施

・「園舎の建て替え」が一番多く選ばれました。

問6 公立園の民営化や統合をするデメリットは何だと思えますか。
(3つまでに○)

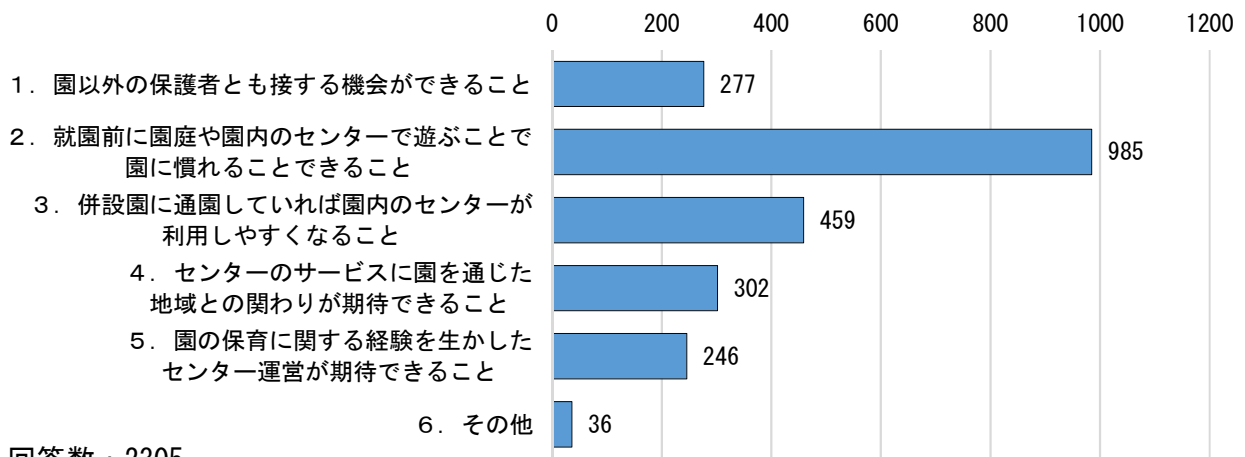


回答数：3065

【参考】その他：大規模園化への不安

- ・「通園距離が遠くなる可能性があること」が最も多く選ばれました。
- ・「送迎時の混雑の懸念」や「保育料以外の利用負担額の変化」も多く選ばれました。

問7 園に子育て支援センターを併設するメリットは何だと思えますか。
(3つまでに○)

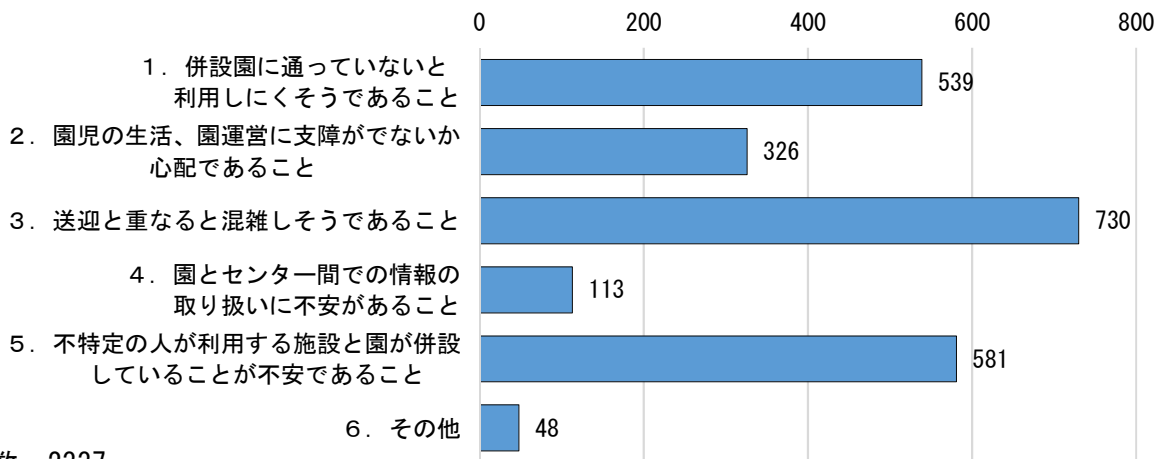


回答数：2305

【参考】その他：通園児の兄弟の遊び場所になる、事前に園について知ることができる

- ・園に子育て支援センターを併設するメリットとして、「就園前から園庭やセンターで遊ぶことで園に慣れることができること」が最も多く選ばれました。

問8 園に子育て支援センターを併設するデメリットは何だと思えますか。
(3つまでに○)



回答数：2337

【参考】その他：感染症への不安

- ・園に子育て支援センターを併設するデメリットとして、「送迎時の混雑」や「不特定の人が利用する施設と園の併設に対する不安」、「併設園に通っていないと利用しにくそうであること」などが多く選ばれました。

問9 園に子育て支援センターを併設した場合、どのようなサービスを期待しますか。(自由記述)

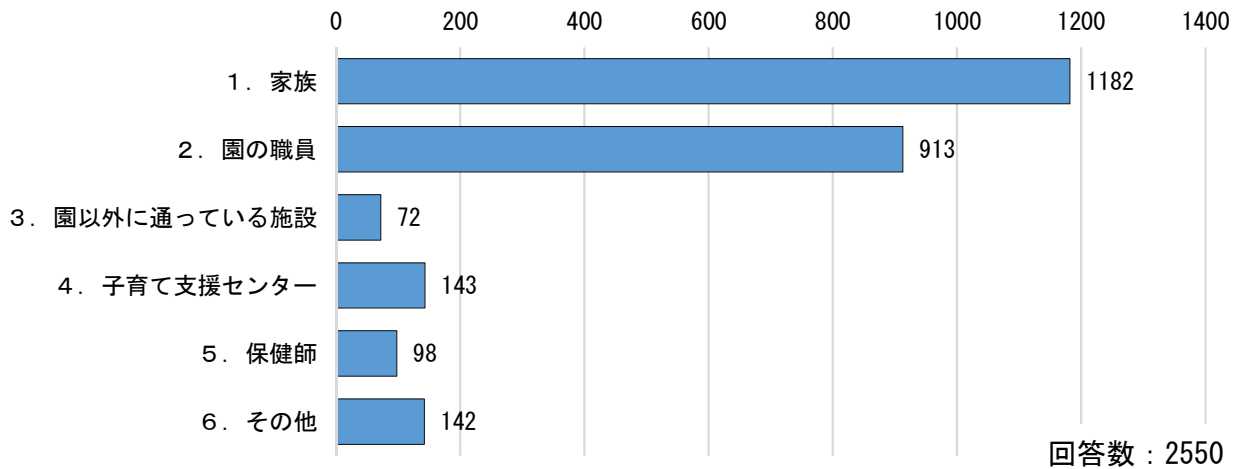
多く見られた意見

回答数：196

- ・併設園の園児とセンター利用者での触れ合いや交流を期待する意見
- ・併設園への入園に繋がるような集団生活体験、園行事参加、園見学
- ・園の給食体験
- ・支援を必要とする子どもの早期発見や相談、療育への接続に期待する意見
- ・入園前の園に関する相談や情報の入手に関すること
- ・園にはない遊具の導入など子どもの遊び場、体験に期待する意見
- ・一時預かりやリフレッシュ預かり、休日保育などの実施に期待する意見

3 保育サービスについて

問10 お子さんの成長について心配があるときに相談する相手は誰ですか。
(複数回答可)



【参考】 その他：友人、かかりつけ医、はあと、職場の同僚

- ・「家族」や「園の職員」が相談相手として多く選ばれていることがわかりました。

問11 お子さんの成長について相談できる場所は充実していると思いますか。



回答数：1237

- ・約7割の方がお子さんの成長について相談できる場所は「充実している」と回答しました。

問12 問11に関することで必要だと思うサービスや施策はありますか。
(自由記述)

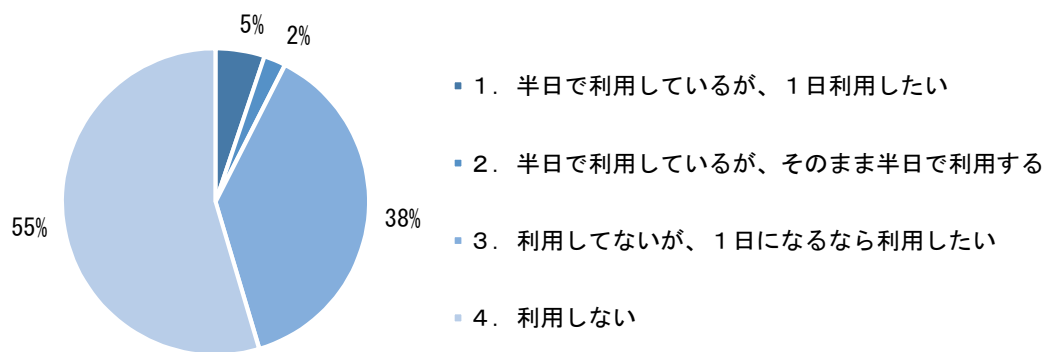
多く見られた意見

回答数：122

- ・相談窓口の拡充（園、支援センターへの保健師常駐、発達支援等の専門職の配置）
- ・SNSやLINEなどインターネットを利用したチャット方式での相談対応
- ・発達支援に関する施設の増設
- ・発達支援の専門家や保健師がいて相談できる施設の増設
- ・施設、サービス、子育てに役立つ情報などの積極的な広報

問13 土曜保育の1日実施について伺います。(1つだけ○)

対象：磐田北・二之宮・豊田北・豊田西保育園の在園児

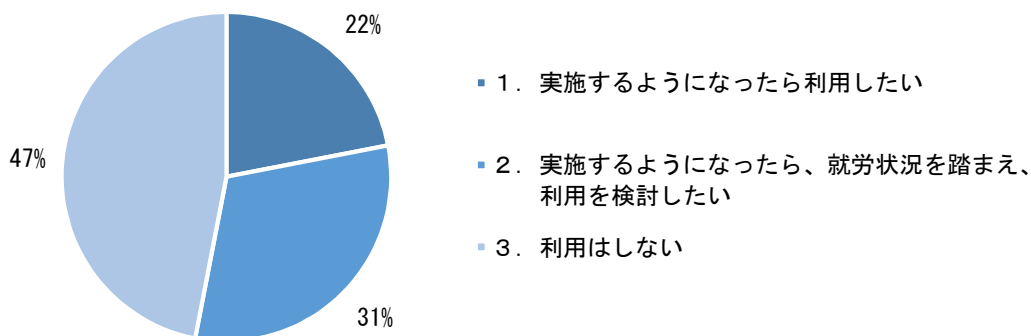


回答数：174

- ・約4割の方が土曜保育が1日保育になった場合、利用を検討していることがわかりました。

問14 現在実施をしていない土曜保育について伺います。

対象：幼稚園型認定こども園の保育園枠の在園児

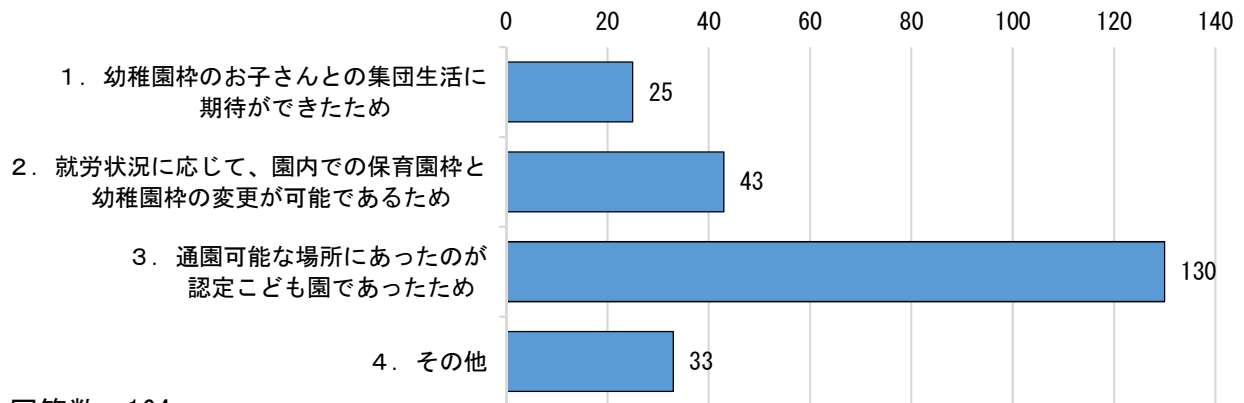


回答数：164

- ・幼稚園型認定こども園の保育枠に通園している世帯の約半数の方が土曜保育を実施する場合、利用に前向きであることがわかりました。

問15 保育園ではなく認定こども園を選ばれた理由について伺います。
(複数回答可)

対象：認定こども園の保育園枠の在園児

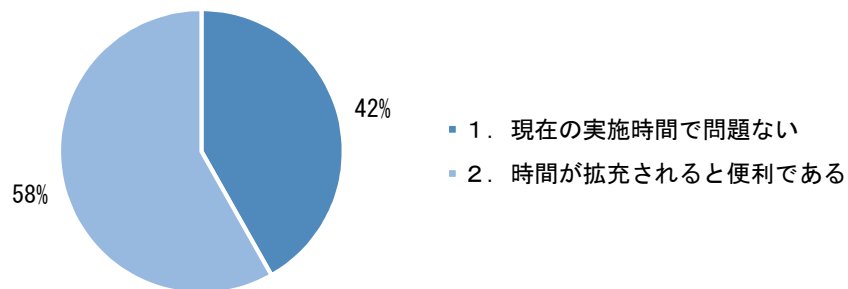


回答数：164

- ・ 保育園ではなく認定こども園を選んだ理由は「通園可能な場所にあったのが認定こども園であったため」ということが多く選ばれました。

問16 預かり保育の実施時間について伺います。(1つだけ○)

対象：幼稚園・認定こども園の幼稚園枠の在園児

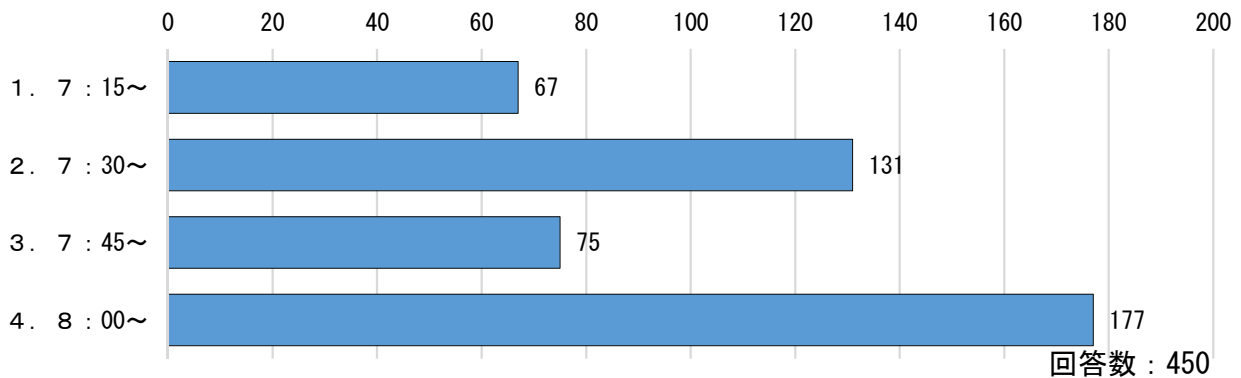


回答数：761

- ・ 幼稚園、幼稚園型認定こども園の預かり保育は約半数の方が「時間が拡充されると便利」と回答しました。

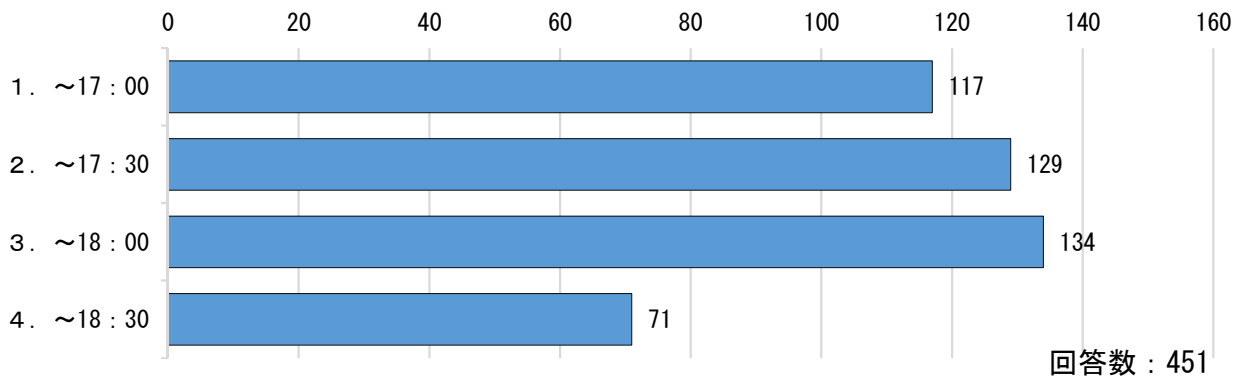
問17 早朝の時間帯はどの程度拡充が必要かお答えください。（1つだけ○）

対象：問16で「2」を選択した方



問18 午後の時間帯はどの程度拡充が必要かお答えください。（1つだけ○）

対象：問16で「2」を選択した方



- ・「預かり保育の時間が拡充されると便利」と回答した人の中で早朝保育は45分～60分程度の拡充、午後の保育は60分～90分程度の拡充を必要とする声が多くありました。

問19 最後に幼稚園・保育園・認定こども園に関することや磐田市の幼稚園保育園行政に関する事で、ご意見がございましたら、自由にご記入ください。

多く見られた意見

回答数：258

- ・施設や設備の老朽化や和式トイレなどへの対応
- ・駐車場の充実
- ・園での生活がわかるような機会、システムの導入
- ・保育士の待遇改善、負担軽減
- ・療育への接続や並行通園など発達支援に関する施策の充実
- ・長期休暇中の幼稚園預かり保育の給食実施
- ・幼稚園の早朝保育の拡充
- ・預かり保育の理由の緩和（リフレッシュ預かりなど）
- ・コロナ禍であっても行事や園外保育など様々な経験をする機会を増やすこと
- ・PTA活動、ボランティアなど、保護者の活動・負担の見直し
- ・園で実施するアンケートの在り方について
- ・園の情報に関する広報方法の見直し